

2013年度 前期		リフレクションペーパー					
学科名	生物環境化学科						
科目名	生物学I						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	1年前期		
必修・選択の別	必修						
担当者	神武 洋二郎						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・生物の分類、進化や遺伝の法則について説明できる。 ・真核生物と原核生物の細胞構造と機能を説明できる。 ・細胞が活動するために必要なエネルギー産生機構を説明できる。 ・遺伝子の情報からどのようにしてタンパク質ができるかを説明できる。 ・細胞がまわりの環境からどのようにしてシグナルを受け取っているかを説明できる。 						
日程と内容	4/11：導入講義、授業の進め方、概要説明、成績評価法。 4/18：生物学の基本-進化・分類学- 4/25：生物学の基本-遺伝の法則・生物体の階層性- 5/2：細胞の構造と構成物質 5/9：細胞小器官と細胞膜の構造と機能 5/16：エネルギー産生機構-解糖系・TCA回路・電子伝達系 5/23：エネルギー産生機構-葉緑体による光エネルギーの固定 5/30：遺伝子の本体であるDNAの構造 6/6：セントラルドグマ-DNAからタンパク質へ- 6/13：タンパク質の機能-運搬・シグナル伝達・細胞骨格- 6/20：タンパク質の機能-筋収縮・転写制御- 6/27：細胞間の情報伝達（1） 7/4：細胞間の情報伝達（2） 7/11：最新の生物学研究の動向 7/18：定期試験 7/25：講評						
成績評価基準	定期試験	70%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題		計	100%			
	演習	30%					
授業到達目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・生物の分類、進化や遺伝の法則について説明できる。:達成した ・真核生物と原核生物の細胞構造と機能を説明できる。:達成した ・細胞が活動するために必要なエネルギー産生機構を説明できる。:達成した ・遺伝子の情報からどのようにしてタンパク質ができるかを説明できる。:不十分だった ・細胞がまわりの環境からどのようにしてシグナルを受け取っているかを説明できる。:達成した 						
反省点	予習・復習の項目の点数が、3.3と、標準よりも低い値であった。課題を出す等、自己学習を促すように工夫する必要がある。						
来年度の計画	復習しやすいように、演習問題を出す。また予習しやすいように、次回の教科書の章の概要を簡単に説明する。						
授業評価アンケートに対するコメント	高校時代に生物を学習していない学生が半数以上であることから、1年生では基本的なことから説明するように心がけた。そのため分かりやすかったというコメントが多かった。しかし、語句の説明が不十分であるというコメントもあったことから、より詳細な説明が必要であると考えられた。						
履修登録者数	72名	定期試験 受験者数	72名	合格者数	64名	合格率	89%